

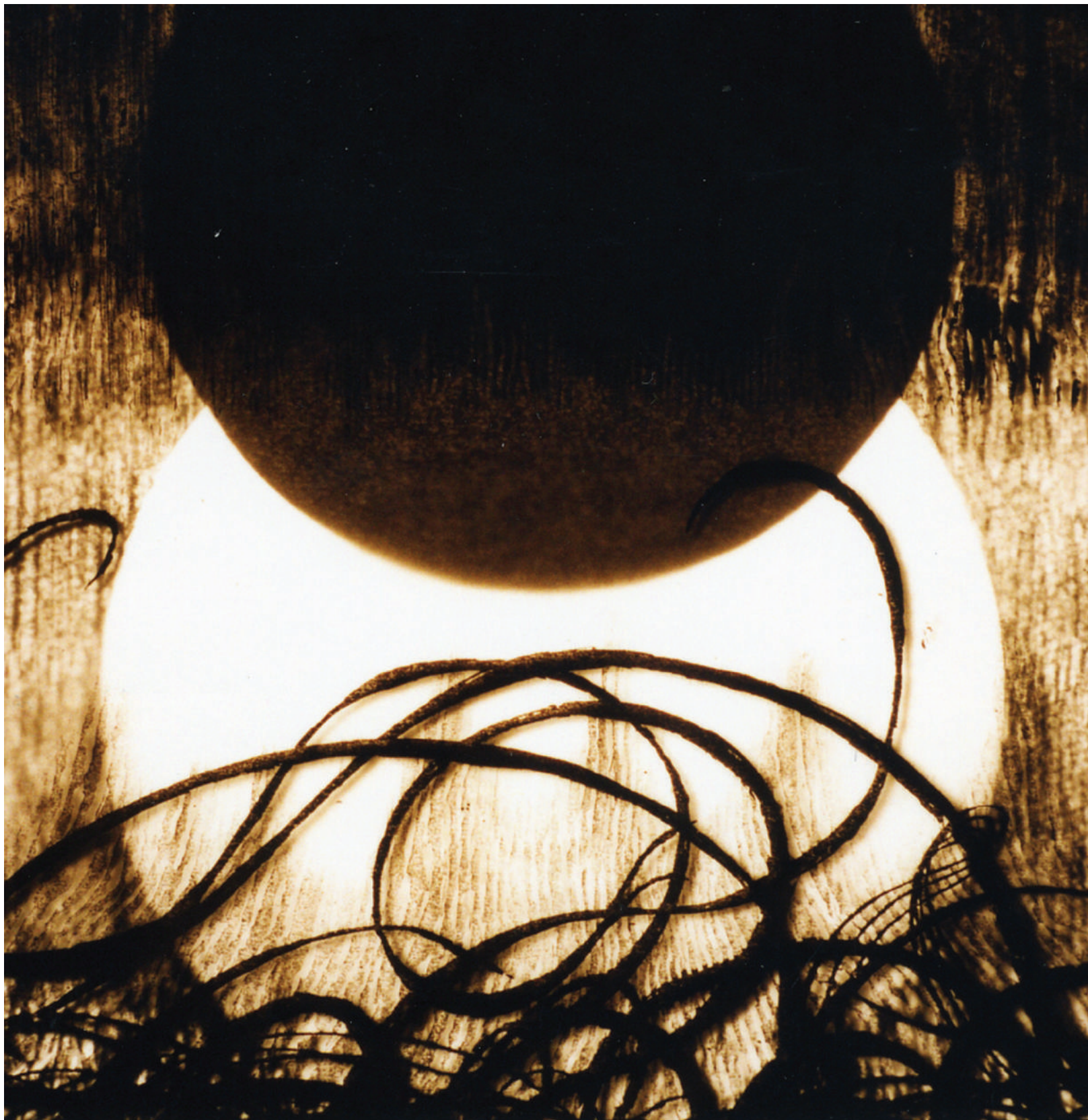
AICHI
PREFECTURAL
MUSEUM
OF
ART

MEMBERSHIP

愛知県美術館友の会・会報 第42号

空中回廊

この展覧会は、輝くロマンへの入口【黄金伝説展】
会員のひろば／バスツアー特集／愛知県美術館コレクションから
【石田尚志『フーガの技法』】／友の会活動紹介



黄金伝説

さんぜん
燦然と輝く遺宝 最高峰の文明展
THE GOLDEN LEGEND

黄金伝説展 古代地中海の世界

開催 2016年4月1日(金)~5月29日(日)



《螺旋状のディアデマ》紀元前4世紀末—紀元前3世紀初頭
金、ブルガリア、スヴェシュタリ出土 ソフィア国立考古学研究所・博物館
Photograph: National Institute of Archaeology with Museum-Sofia, Bulgaria

約6千年前の古代文明がもたらした金の遺宝の数々と、金にまつわる絵画を共に展示した「黄金伝説展」。展覧会を担当された、藤島美菜主任学芸員にお話を伺いました。

展覧会・展示方法の見所について

■ **まずは、見どころから伺います。**

今回の展覧会では、世界最古の金製品を始め、地中海地域で栄えた古代文明の金の数々をご紹介します。見どころの一つとして、約40年前に、黒海沿岸のブルガリアの町ヴァルナで発見された墓を復元し、埋葬者が金やその他の装飾品できらびやかに飾られている様子をよみがえらせました。副葬品の金製品は、エジプト最古のピラミッドより遙か以前の、今から6000年以上前の銅石器時代に加工された世界最古の金であることが明らかとなっています。これら金製品の発見によって、ギリシャ神話に伝わる黄金をめぐる物語がただの伝説ではないことが裏付けられました。さらに展覧会では、ブルガリアやイタリアで栄えた古代文明のトラキア、ギリシャ、ローマ、エトルリアの金製品をご紹介します。

■ **黄金の輝きをより一層堪能できる、特別な展示方法だそうですね！ そのこだわりを教えてください。**

今回の展覧会は、4つの章で構成されています。墓の復元による世界最古の金製品を紹介する章に始まり、地中海や黒海地域のギリシャ、ブルガリア、イタリアを3つの章に分けて、各地域の古代文明の金製品を紹介しています。また、海外の貴重な考古遺物の展示にあたっては、所蔵館のスタッフも協力し、繊細な金製品を丁寧に展示しました。さらに、東京・宮城・愛知の会場を総括する日本の展示デザイナーが、各会場に合わせてプランを考え、学芸員と協力して展示を練り上げました。金の輝きを最大限にいかすために、LED照明を使用し、黒を基調としたケースに展示しています。現代によみがえった、古代の金の輝きをご鑑賞いただければと思います。



鑑賞する際に注目のべきポイント

■ **拡大して観るべき鑑賞ポイントを教えてください。**

イタリア半島で紀元前9世紀から紀元前2世紀にかけて活躍したエトルリア人の金細工には目を見張るものがあります。小さな金の粒を用いた「粒金細工」による金製品は、古代エジプトの平均的な粒金が約1ミリなのに対し、エトルリアの最小のものでは0.15ミリにも満たず、髪の毛一本の太さに匹敵する大きさとなっています。バックル、ブローチ、腕輪などに表現された、比類のない金細工技術に裏打ちされたマイクロな世界をご堪能ください。

■ **精巧な細工の見所はどこですか？**

今回の展覧会で紹介する古代文明の金細工の技法は、ご覧になるとお分かりのように様々です。副葬品を始めとする宝飾品や装飾品には、打ちだしや金線などの様々な金細工技法が用いられています。中でも、エトルリア文明の高度な匠の技による粒金細工は必見です。身に着けるものが多く、サイズも小さなものがほとんどですが、細工の細部まで目を凝らしてご覧ください。

藤島学芸員ご自身が注目している展示物を一つ選んでいただき、フォーカスします

■ **特に注目している展示物をひとつ選んでください。**

今回の展覧会の見どころの一つである、ブルガリアのパナギュリシテ遺宝です。「パナギュリシテ」は地名で、そこから2キロメートル南の地で、1949年に9点の金の食器が発見されました。今回の展覧会では、3点の酒器リュトンと1点の皿フィアレが展示されます。この遺宝は、ブルガリアに建設されたギリシャ人の植民都市で制作されたもので、特にアンフォラ型リュトンの把手や胴部には、ギリシャ神話の登場人物や場面が浮彫で表現されています。胴部の衣服をまとう神々の表現には、ペルシャ的装飾要素がうかがわ



《パナギュリシテ遺宝》紀元前4世紀—紀元前3世紀
金、ブルガリア、パナギュリシテ出土
プロヴディフ考古学博物館
Photographs: Regional Archaeological Museum-Provdiv, Bulgaria

れ、ギリシャとペルシャの二つの文化の痕跡をたどることが出来ます。ひと目で、その神々しい輝きに満ちた遺物の素晴らしさにご納得いただけることと思います。なお、このアンフォラ型リュトンは、1695.25gと、1キロ半の米袋より重く、ずっしりとしたものです。

■ **最後に、個人的に身につけてみたい宝飾品はありますか？理由も教えてください。**

どれも魅力的ですが、敢えて言うなら、頭の上を飾る習慣は日常生活ではあまりないことなので、頭飾りに関心があります。日本初公開のブルガリアのディアデマは、純度の高い金で作られ、木の箱に納められていたところを発見されました。王家の墳墓から出土しているの、高貴な方が身に着けたものであったことが分かります。見ると小さく感じられるので、意外に窮屈な心地のする宝飾品なのかもしれません。

歴史とロマンあふれる展覧会に今から心躍ります。お忙しい中ご回答いただきありがとうございました。(本田 良子)

次回展覧会のお知らせ

あいちトリエンナーレ2016



虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅

期間 2016年8月11日(木・祝) ~10月23日(日) [74日間]

2016年3回目のあいちトリエンナーレのテーマは「虹のキャラヴァンサライー創造する人間の旅」です。キャラヴァンサライは、主として中東地域に建物として今なお残る、商人や旅人たちが宿泊してきた場所のことです。人類はいつの時代でも、旅と移動を繰り返しながら、何かを作ってきたし、これからも作り続けるだろう、ということを伝えたい、と思っています。

国際芸術祭であるあいちトリエンナーレには、アラスカから、ブラジルから、そして中東から、さまざまなアーティストが参加します。この地球上で同時代を生きるアーティストたちの芸術表現を通して、自分自身のこと、自分たちのこと、そしてこの地域を、今一度、見つめ直していく機会となれば、と思います。

国際芸術祭推進室 主任主査 拝戸雅彦

あいちトリエンナーレ2016でのひとこま

講座『信仰と美術』／お茶会レポート

思いをうけて変わりゆく仏像の姿と、信仰の哲学

本年度の講座は西山厚氏(帝塚山大学文学部文化創造学科教授)をお迎えし、「信仰と美術」のテーマで開催しました。9月から毎月1度ずつ、全4回の連続講座です。

第1回「釈迦信仰」、第2回「観音信仰」、第3回「地藏信仰」、最後の第4回は「阿弥陀信仰」。日常のなかで自然に、手を合わせたり眺めたりしているほとけさまたちについて、お話いただきました。

それぞれの名前の由来から、元となる仏典、特徴。人々の願いや思いをうけて仏像の姿が変わっていくさまを、先生の穏やかな口調に癒されながら伺いました。また、他では見ることができない、展示の作業や、博物館内で仏像を供養して



いる写真なども見せていただきました。

信仰にまつわる逸話とその精緻な解釈を伺っていると、美術にとどまらず、ものの見方のヒント、哲学のお話を聞いているような感覚になります。様々なことをただ眺めるだけではなく、何かにつなげて思索することで、日常を豊かなものに変えたいと願ったひとときでした。

お茶会レポート

10月の講座後には、会員と交流の時間も作っていただきました。参加した会員の感想をご紹介します。



＊連続講座第2回終了後に、今回は初めての試みとなる、お茶会が開かれました。

入場前に500円を払うと、講座終了後に館内の喫茶店からコーヒーや紅茶が運ばれて、各席に配られます。おかげで、優雅な余韻を味わうことができました。(I.K.)



Information 事務局からのお知らせ

イベント事業部

講座後の「お茶会」、「一泊バスツアー」、ARCHの若手作家と学芸員を囲む「アートカフェVol.1」、「他館鑑賞会」など楽しい企画を始めました。

ユース会員制がスタート

4月より学生会員枠を廃止して、満25歳以下の若年層を対象にしたユース会員制が新たに導入されます。年会費は一般会員に比べ半額と低く設定され、若年層を優遇した制度といえます。入会手続きは10階受付か事務局で。(年齢を証明するものが必要となります)

ホームページがリニューアル

項目、内容を大幅にグレードアップしました。イベントの様子やスケジュールなどをご覧いただけます。

愛知県美術館友の会 検索

サポート項目	活動内容
モニター	企画展会員モニターとしてモニターシートに記入や一般入場者アンケート集計など
所蔵品管理	所蔵品の保護・保管用備品の製作や所蔵品管理カードの整理・作成など
発送	会員向け展覧会資料等の発送作業
講座の準備・受付	特別鑑賞会、講演会、講座などの会場準備、受付など
イベント	友の会主催イベントの運営アシスタント
広報	会報「空中回廊」の編集、会員勧誘活動など
ホームページ作成	友の会ホームページの更新など(現在募集は中止しております)

サポートスタッフを若干名募集しています

希望される方は事務局にある登録票に、希望するサポート内容を記入し、友の会事務局に申請してください。(詳しくは事務局にお問い合わせください)

愛知県美術館友の会 事務局 (火・木・土10:00～16:00)
tel.052-971-5511(代) fax.052-971-5617
✉ tomonokai@aac.pref.aichi.jp

他館鑑賞会レポート

友の会会長 小林 克敏 -Katsutoshi Kobayashi-

豊田市美術館

TICKET: コレクション展「わたしたちのすがた、いのちのゆくえ」

TICKET: 企画展「ソフィ・カルー最後のとき／最初のとき」

2015年10月12日(祝・月)

本年度の他館鑑賞会は、リニューアルした豊田市美術館から始まりました。イベント部会の会議でまっさきに出された意見は、昨年度まで愛知県美術館の館長であった村田眞宏さんが今年度から豊田市美術館の館長として赴任されたので、ぜひ応援に訪れたいというものでした。

当日、早めに到着してパンとコーヒーをマルシェでゲット。食事に準備されたテーブルで秋の美しい日差しに輝く美術館をゆっくりと眺めていました。村田館長はあちこちの様子をみているようで、ばったり出会い、ご挨拶しました。



集合時間には事前申し込み以外の方々も多く集まり、村田さんの人気がかがえました。天気も良いので外でお話を聞くことにしました。



リニューアルに向けてのコレクション展

豊田市美術館が小学校の跡地にできたことから、地域に親しまれる美術館をめざして今回のコレクション展をリニューアルオープンに設定したとのこと。地域の歴史をひもとき、変化してきた生活に併せてその時代の芸術作品を鑑賞していくという企画でした。また、やや敷居の高い印象を払拭するため、可愛い子どもの姿を生かした写真を使ってイメージアップを図っているとのこと。明るくきれいになった美術館の壁面についてのお話もありました。

企画展「ソフィ・カル展」の紹介

所蔵作品のなかで最も高い人気を誇ったソフィ・カルル作品介绍するという企画をオープニングの企画展に設定したこと。心にしみ入るような、また深く考えさせるような作品をぜひ見て欲しいと話されました。

コレクション展の会場ではガイドボランティアの方によるギャラリートークがありました。質問攻めにも丁寧な受け答えをいただきました。時間軸に沿いつつも国や地域、時代背景を超えて出会ったように並べられた作品は、お互いにその存在を響き合わせていました。

お忙しい中、大勢の訪問を快く迎えて頂きありがとうございました。

名古屋市美術館

TICKET: 「リバプール国立美術館所蔵 英国の夢 ラファエル前派展」 | 2015年11月11日(水)

第2回の会場は名古屋市美術館。「ラファエル前派展」の鑑賞です。エヴァレット=ミレイやウオーターハウスらの作品は、愛知県美術館で開催された「ロイヤル・アカデミー展」に出品されていたので、2つの展覧会を関連づけて鑑賞できました。

当日は30名ほどの参加があり、講堂にて名古屋市美術館の笠木日

南子学芸員から展覧会の概要から主な作品の解説と見どころなどを丁寧にお話しいただきました。画家や妻たちとの複雑な恋愛の話や巨大な作品が2階に上げられず章立てを変えての展示となっているが、うまくつながって鑑賞できるようになっていること、作品の額縁のデザインはジャポニズムの影響を受けているようなものや重厚

なものもあり、それも見どころであることなど、ただ眺めているだけでは気づかないお話を聞くことができました。

気さくで朗らかな笠木学芸員さんのお話から展覧会への期待がいっそうふくらんで展示室へ。自然を忠実に表現した細密な作品にいつまでも見とれ、気付いたら閉館間近になっていました。



愛知県美術館友の会では、2010年より原則年1回、バスツアーを開催しております。友の会企画のツアーらしく、会員同士で交流する場や各館での案内時間をたっぷり設けました。右が、これまでに開催したバスツアーです。今後も魅力たっぷりのツアーを企画しますので、みなさまの会にご入会いただき、ご参加ください。



イベント担当理事よりひとこと

初回から立案に携わっていますが、改めて表にしてみると、もう8回も開催したのか、という印象です。それまでのイベント(懇親会・ナイトカフェ)ではお見かけしなかった会員も多数参加されていて、より多くの会員に楽しんでいただける重要なイベントとしてすっかり定着しました。

今後とも、みなさまの要望にお応えできる魅力的なツアーを企画していきたいと思っております。(森 健次)

これまでのバスツアー

DATE: 2010年4月10日 TO: かわら美術館(愛知県高浜市) 藤井達吉現代美術館(愛知県碧南市)

POINT: 藤井達吉現代美術館では、本本文平館長(元・県美術館副館長)の名物トークが聞けました。

DATE: 2011年3月13日 TO: MIHOミュージアム(滋賀県甲賀市)

POINT: 信楽の街並み散策も楽しめました。

DATE: 2012年4月22日 TO: 佐川美術館(滋賀県守山市) 滋賀県立近代美術館(滋賀県大津市)

POINT: 村田館長(現・豊田市美術館館長)が滋賀県立近代美術館でもギャラリートークを行っていただきました。

DATE: 2013年5月12日 TO: クレマチスの丘(静岡県長泉町) ベルナル・ビュフェ美術館(静岡県駿東郡) 他

POINT: 日本料理「テッセン」での昼食が好評でした! エリア内自由散策も楽しんでいただけました。

DATE: 2013年10月6日 TO: 岩船寺、浄瑠璃寺(京都府木津川町) 円成寺(奈良県奈良市)

POINT: リクエストに応えた寺づくしツアーを初開催!

DATE: 2014年10月18日 TO: 飯田市美術博物館(長野県飯田市) 川本喜八郎人形美術館(長野県飯田市) 駒ヶ根高原美術館(長野県駒ヶ根市)

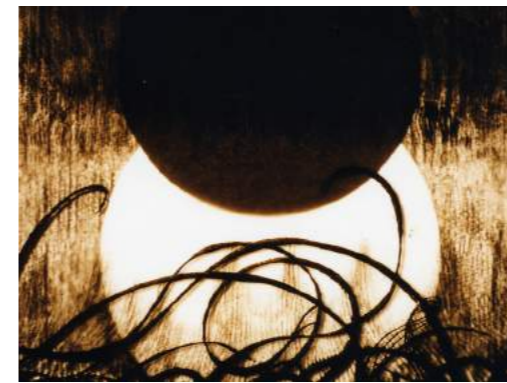
POINT: 全ての館で案内付き! 昼食はご当地名物の馬肉しゃぶしゃぶを堪能しました。

DATE: 2015年8月28日 TO: 薬師寺、奈良国立博物館(奈良県奈良市)

POINT: 薬師寺では僧侶による講話が面白く、好評でした。

DATE: 2016年2月18日 TO: 東山魁夷せとうち美術館(香川県坂出市) 猪熊弦一郎現代美術館(香川県丸亀市) 2016年2月19日 TO: イサム・ノグチ庭園美術館(香川県高松市) 地中美術館(香川県香川郡) ベネッセハウスミュージアム(香川県香川郡) 他

POINT: 初めての1泊ツアー開催! 人気の美術館など見どころ満載。内容の濃いツアースケジュールでした。名物さぬきうどんや地元でとれた新鮮な活魚料理も堪能できました。



石田尚志「フーガの技法」2001(平成13)年 愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品 (編)ここで紹介する所蔵作品「フーガの技法」の一部分を、本会報表紙に掲載しました。



代表作が異色作でもある不思議

『愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品』は、1992年の愛知芸術文化センター開館以来、継続的に行われている、映像作品の自主制作事業です。海外ではイギリスのブリティッシュ・フィルム・インスティテュートや、アメリカのTV局WNETなど、公的な機関が実験的・前衛的な映像作品をサポートするケースは少なくありませんが、国内では珍しく、かつ20年以上継続している例は他にないでしょう。

なぜこのような事業が始まったのかを説明すると、そのきっかけは当センター地下2階にあるマルチ・ヴィジョンを、効果的に活用したいというアイデアからでした。現在では催事情報の提供が主となっていますが、開館に向けて準備が進んでいた当時は、ビデオ・アート等の映像作品を放映するプランもあり、ここで流すオリジナルの環境映像を作ろうという構想がありました。現在も1時間ごとに放映されている、岩井俊雄制作による『愛知芸術文化センター・シンボル映像』(1993年)が、実は「オリジナル映像作品」のシリーズ第一作です。この作品で岩井が描写した、光の粒子が集約され人体像を形成するヴィジョンは、美術館と劇場、文化情報センターの三つの部署が有機的に機能して、ジャンルを超えた新しいアート・シーンを作り出そうとする、複合文化施設として設計された当センターのコンセプトが表わされていました。そして、ジャンルを複合、融合したアートの象徴としての人体像は、「オリジナル映像作品」のシリーズを通したテーマである、映像メディアによって「身体」とは何かを考察することにつながってゆきます。

昨年、横浜と沖縄で大掛かりな個展を成功させて注目を集めた、映像作家で画家の石田尚志の代表作

『フーガの技法』(2001年)は、本シリーズ第10作にして初のアニメーションとして完成したものです。当時、石田は東大駒場寮の一室を使い、一年間を掛けて室内にペンキ等でドローイングを施し、抽象アニメーション作品として完成させた『部屋／形態』(1999年)を発表し、新進の実験映画作家として注目を集めていました。石田は『部屋／形態』でも、バロック音楽の巨匠J.S.バッハの楽曲を使用していましたが、『フーガの技法』ではより純粋にバッハに向き合うことを、自らに課することになります。

『フーガの技法』は、しばしば石田の代表作と言われますが、もともと画家で路上でのライブ・ペインティングからそのキャリアをスタートさせた作品の展開から見ると、平面上のドローイング・アニメーションとして完成された本作は、むしろ異色作の位置にあると考えられます。また「オリジナル映像作品」シリーズにあっても、本作は唯一、具体的な身体イメージが画面上に表われず、ドローイングの痕跡によって、画面には登場しない作者の身体行為を示唆している意味でも特異な存在です。代表作が実は異色作であるという逆説は、概ね90分に作品をまとめているジャン＝リュック・ゴダールの『気狂いピエロ』(1966年)が約2時間である点で例外、といった事例もあるように、大変興味深い現象といえます。その後、石田は『夏の絵』(2010年)等で描く彼自身を画面に登場させる新たな展開を見せますが、そのステップアップにつながる基点として、バッハを映像化する大仕事をやり遂げた本作での達成があることは間違いのないでしょう。越後谷卓司(愛知県美術館主任学芸員)

「愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品」と、石田尚志『フーガの技法』



越後谷卓司 Takashi Echigoya
学芸員の横顔
文化情報センターから美術館に籍を移し二年目。展示の仕事にも慣れてきましたが、美術と映像を融合させる仕事のなかで、戸惑う場面も多いです。



AICHI
PREFECTURAL
MUSEUM
OF
ART

MEMBERSHIP

美術館から

この美術館で働き始めたのと同じ、2015年1月から友の会の担当をさせてもらっています。すぐには分からなかったのですが、次第に愛知県美術館は友の会と共に歩み、また支えられてきたのだと実感するようになりました。月に一度の理事会では、私よりもずっと長い間この美術館に関わっている会員の皆さんから教えてもらうことも多く、美術館に対する生の声を聞く機会ともなりました。友の会の活動やイベントのために週に何度も美術館に足を運ばれる会員さんをお見かけすると、愛知美術館が皆さんの生活の中心にあるのだと思います。

日本全国には多くの美術館友の会がありますが、自主講座を開設したり、他館鑑賞会を開催したりと、ここまで自立して様々な活動を行っている組織は他にないのではないのでしょうか。さらには、サポート部会が様々な美術館活動をサポートして下さっています。是非2016年度も、会員の皆さんに充実した友の会ライフを送って頂ければ幸いです。
(愛知県美術館学芸員 小野寺奈津)

これからの展覧会のご案内

黄金伝説展 古代地中海の世界

開催 2016年4月1日(金)~5月29日(日)

友の会入会のご案内

友の会の詳しい活動内容を知りたい方、入会をご希望の方は下記までお問い合わせください。入会のご案内パンフレットやホームページでも詳しくご紹介しております。ぜひご覧ください。

▶ 愛知県美術館10階受付

▶ 友の会事務局(火・木・土10:00~16:00)

tel.052-971-5511(代)

編集後記

前回あいちトリエンナーレ2013では、全会場を制覇しました！今回も、見慣れた街にどんな変化がうまれるのか、発見できるのかを楽しみにしています。

- 編集 松下智子/冨永晃一/喜田泉/小林克敏
本田良子/三林浩子/森健次
- 協力 愛知県美術館
- 発行 2016年3月

愛知県美術館友の会

〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目13-2
愛知県美術館内(愛知芸術文化センター10階)

tel.052-971-5511(代)

fax.052-971-5617

✉ tomonokai@aac.pref.aichi.jp

愛知県美術館友の会 検索



愛知県美術館ホームページ

www-art.aac.pref.aichi.jp

10月

友の会講座「信仰と美術」第2回 講師:西山厚氏★
お茶会★
他館鑑賞会(豊田市美術館)★
コレクション企画「線の美学」開催

コレクション企画「線の美学」特別鑑賞会



二次元の線を始め、三次元の線、動く線、映像の中の線まで、様々な「線」の表現を楽しむことができました。夜の部では多くの学芸員さんにご参加いただき、特別鑑賞会ならではの自由な雰囲気の中で、皆さん思い思いに鑑賞されていました。(R.H.)

11月

他館鑑賞会(名古屋市美術館)★
友の会講座「信仰と美術」第3回

12月

友の会講座「信仰と美術」第4回

「ピカソ、天才の秘密」展 開催

1月

「ピカソ、天才の秘密」特別鑑賞会

昼、夜共に大盛況となりました。人気の展覧会をゆったりと鑑賞できるのは特別鑑賞会ならではの。作品の下に隠されたもうひとつの絵の話など大変興味深い内容でした。(R.H.)



友の会講座「アンドリュー・ワイエスとの20年」講師:高橋秀治副館長

2月

一泊ツアー

★…中面でご紹介しています。ぜひご覧ください。

定例活動

所蔵品管理	モニター	発送	受付 <small>[懸]</small>	広報	ホームページ	理事会
23回	2回	2回	7回	4回	随時更新	5回